



巴商会の SDGs 



SDGsとは

持続可能な開発目標

(SDGs)とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。



すべての人に健康と福祉を

3 すべての人に健康と福祉を



社会基盤の基礎となる従業員の働き方改革、健康推進に積極的に取り組んでいます。
また、資源の有効活用として、社内資源の有効活用に取り組んでいます。

👉 具体的な取り組み

- 会社員の健康診断受診による健康経営
- 就業時間内に成果を出す風土の醸成
- メンタルケア窓口導入によるメンタル対策
- フードバンクへの寄附活動



エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに



快適環境創造企業として、未来へつながる持続可能な製品開発に取り組んでいます。

再生可能エネルギーである木質燃料を用いたバイオマスボイラ熱利用システムの推進をはじめ、エネルギー効率の高い小出力潜熱回収型温水機の開発と推進、加えてヒートポンプを組み合わせたハイブリッド熱供給システムの構築と推進により、温室効果ガス排出量の削減に貢献しています。

👉 具体的な製品

[木質バイオマスボイラ](#)

[ハイブリッド熱供給システム](#)

[潜熱回収型温水機 BHC-800シリーズ](#)



木質バイオマスボイラ
ENER



BHC-800シリーズ

産業と技術革新の基盤をつくろう

9 産業と技術革新の 基盤をつくろう



廃棄物として捨てられてきた未利用資源を燃料として活用することによって環境負荷を減らし、エネルギーを効率よく利用する循環型社会の構築に寄与しています。



- 具体的な製品
 - [バイオマスボイラ](#)
 - [バイオガスボイラ](#)
 - [バイオディーゼルボイラ](#)

食品残渣や廃プラなどの廃棄物をそのまま燃料へと再利用できる環境に優しい「バイオコークス・廃プラ・食物残渣ボイラ」になります。



事例紹介：廃プラボイラ導入について

住み続けられるまちづくりを

11 住み続けられるまちづくりを



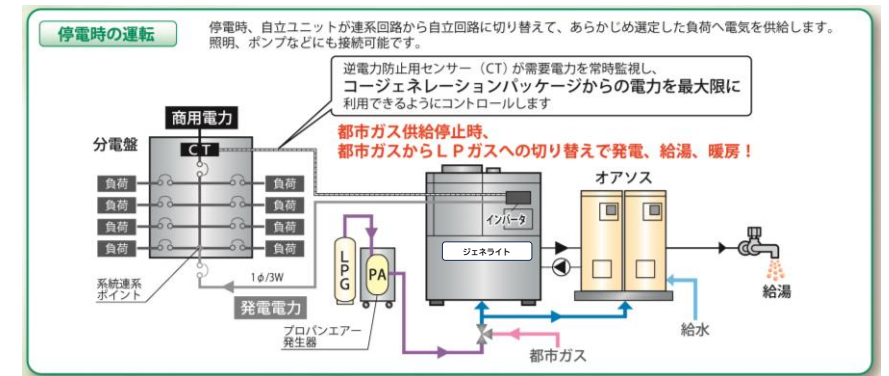
被災地で発生する、瓦礫木材を燃料に、電源不要で利用ができる「被災地支援型温水ボイラ」の開発により被災地の復旧・復興に貢献していきます。
また、温水機と発電機を組み合わせ、停電時でも給湯や暖房が可能なシステムのご提案を通して災害対策に寄与しています。

👉 具体的な取り組み

- 東日本大地震被災地に「電源の要らない薪ボイラ」を設置。仮設の風呂へのお湯の供給を行いました。
- 停電対応型自立式発電機付温水機〈OASOS：オアソス〉



被災地支援型木材焚温水ボイラ



停電対応型自立発電機付温水機
〈OASOS：オアソス〉

つくる責任・つかう責任

12 つくる責任
つかう責任



生産工程内の品質管理を徹底し品質向上に努めることで不良発生率を低減させ、廃棄物の発生を防止しています。また、再生品の積極活用と資源のリサイクル・リユースを推進することで廃棄物を削減し、排出する廃棄物についても環境に影響を与えない様に管理をしています。



松戸工場内

気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に 具体的な対策を



自社における削減目標を明確にし月々の排出量の見える化を実施し、自社工場の省エネルギー化、社用車のハイブリット化等でCO₂削減に取り組んでいます。

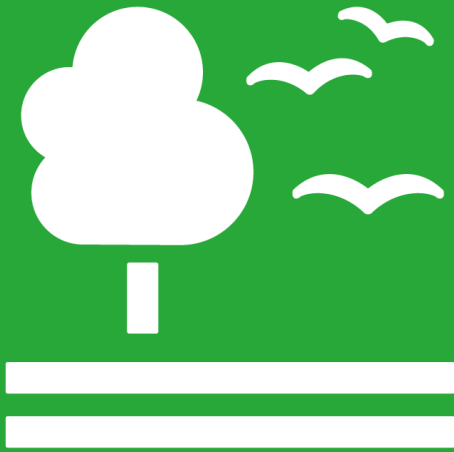
👉 具体的な取り組み

- CO₂排出量削減に貢献する省エネルギー工場
- LED照明の採用による使用電力削減
- 社用車のハイブリッド化によるCO₂削減



陸の豊かさも守ろう

15 陸の豊かさも 守ろう



千葉県のある九十九里浜に防砂林の植林を行い、毎年下草刈り等森林維持活動に取り組んでいます。また、2025年には新たな植林を予定しており、環境の整備を行っています。植林と森林維持活動を通じ地域社会、CO2削減に貢献しています。

👉 具体的な取り組み

- 植林活動
- 定期管理の実地

